

支援例

社団法人 日本青年奉仕協会

東京都立広尾高校

1 年間プログラム作成のアドバイス 【支援者 村上徹也（日本青年奉仕協会）】

渋谷区青少年教育コーディネーターと協同して、学校の周りの地区組織（青少年対策地区委員会など）、大学（青山学院大学）や、NPO（グリーンバードなど）をつなぎ、地域が支える安定した教科「奉仕」の実施体制を整えました。



2 地域安全マップづくり

【支援者 地域の専門家、ボランティア】

① フィールドワーク ②マップづくり、発表

近隣の小学校で安全マップ作成指導をしている方について作り方について説明していただき、一緒に10人で1班となってマップづくりに出かけた。地域の方へのインタビューを行うなど、地域の暖かい協力があつた。

3 渋谷原宿清掃活動

【支援者 NPOコンポジション、NPOグリーンバード】

清掃活動を行なっているNPOの支援を受け、渋谷、原宿表参道一体、代々木公園、代々木体育館周辺の清掃活動を実施。事前学習として、団体の活動紹介や、当日の活動説明を行なった。

4 防犯ポスターづくり 【支援者 専門家、美術大学生】

大学の先生の説明の後、作成の時間は美術を専攻している大学生がクラスに2名ずつ入り、直接指導していただいた。できたポスターは、町会の掲示板に掲示。



支援例

社会福祉法人立川社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ

東京都立立川高校(全日制)

1 カリキュラムに関する相談や、事前事後学習の支援、オリエンテーションなど

【支援者 市民活動センターたちかわ】

立川高校(全日制)は、ポイントリザーブ制をとっているため、単年で終わる活動とならないようオリエンテーションや事前事後学習など1年生～2年生への流れ(ステップ)を大切にしながらサポートさせていただいています。

2 地域清掃活動

【支援者 市民活動センターたちかわ】

多摩川などでの清掃活動。自治会や行政との調整を行った。

清掃活動も大切な体験活動です。しかし、単に清掃活動を行なうのではなく、地域や市民活動団体が関わることで、そこにコミュニケーションが生まれ、体験活動が生徒にとってより良いものになります。

3 選択体験学習

部単位での体験学習と、個人参加を中心とした体験学習を実施

【支援者 市民活動センターたちかわ、都立特別支援学校、保育園、高齢者施設、障害者施設等】

1～3学年にわたって体験を行うポイントリザーブ制。中学校の部活指導や特別支援学校の夏祭り等の行事ボランティア、マラソン大会補助など。部活動加入者以外は、個人参加として体験学習を選択して実施。

生徒自身の特技や興味を生かした体験活動のプログラムを提供することで、生徒が楽しさややりがいを感じながら、活動できるよう、支援しています。

荻野副校長からのコメント

地域にはさまざまなニーズがありますが、そのニーズを汲みとり、学校と連携して生徒にふさわしいプログラムに仕立てる重要な役割をいただいています。「高齢者施設でのパソコン指導」では指導役の生徒より技能の高い高齢者の方に出会ったり、「小学生への宿題支援」では教えるおもしろさに目覚め、1日の予定が3日間もやり続ける生徒が出るなど、学校では得られない「気づき」の機会を演出していただいているのもコーディネーターの方々です。

